

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

●会長 白木 誠一

●幹事 古田 哲朗

ロータリー：変化をもたらす

No.1590 平成 29 年 11 月 01 日 第 17 回例会

ロータリー：
変化をもたらす※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

■点鐘

■国歌斉唱

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 鷺山法雲)

■来訪者紹介

(会長 白木 誠一)

米山奨学生 翁力棟 君

■今月の誕生日

【会員】

潮谷 愛一君 S. 14.11.26

島村 徹男君 S. 16.11.22

小松野正彦君 S. 39.11.12

山坂 哲生君 S. 39.11.19

草村 安宏君 S. 38.11.15

【夫人】

堤 里美様 11.27

坂梨弓子様 11.29

■米山奨学金の授与

(会長 白木 誠一)

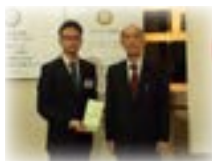
■会長の時間 (会長 白木 誠一)

I P S 細胞応用の薬 世界初

京都大学のグループが、I P S 細胞を使って見つけ出した薬の候補となる物質を難病の患者に実際に投与する臨床試験を始めました。

大学によりますと、I P S 細胞を応用した薬の臨床試験は世界で初めてで、半年間、効果を検証したうえで薬として国に申請したいとしています。

京都大学 I P S 細胞研究所の戸田口淳也教授のグループは、筋肉の組織が次第に骨に変化する F O P = 進行性骨化性線維異形成症と



言う難病の患者から作製した I P S 細胞を使って、難病の進行を抑える効果のある物質を見つけ出すことに成功しました。

京都大学のグループは、薬として国の承認を受けるための臨床試験を始めました。

京都大学附属病院では、I P S 細胞のもととなる細胞を提供した患者の 1 人で、兵庫県明石市の山本育海さん (19) が診察を受け、薬を受け取りました。

今回投与されるのは、免疫抑制剤として使われているワマシソと言う物質で、筋肉の組織が骨になるのを抑える効果があることが動物実験などで分かっています。

臨床試験は京都大学と東京大学、それに名古屋大学と九州大学で、合わせて 20 人の患者を対象に半年間おこなわれることになっています。

京都大学によりますと、I P S 細胞を使った薬の開発で臨床試験が行われるのは世界で初めてだという事で、グループでは効果などを慎重に検証したうえで、国の承認を得たいとしています。

【戸田教授「進行食い止める予防薬で期待」】

戸田口淳也教授は「研究を始めて 8 年という短い期間で臨床試験を開発できたのは、まさに IPS 細胞の力だと思う。この病気は非常にまれで IPS 細胞を使って繰り返し同じ実験ができた事で初めて病気が進むプロセスを確認できるようになった。今回の薬は病気を治す治療薬ではなく進行を食い止める予防薬としての効果が期待されている。試験の前と後で患者の症状が進行していないかどうかを慎重に確認していきたい。」と話していました。

【IPS 細胞と治療薬開発】

I P S 細胞は「再生医療」という新しい医療と「治療薬の開発」という 2 つの面で医療への応用が期待されています。

「再生医療」は病気やけがで失われた組織や臓器を I P S 細胞などを使って再生するもので、将来的な実用化が期待されていますが、複雑なヒトの臓器などを完全に再生し、医療として確立するにはさらに研究が必要だとされています。

一方、「治療薬の開発」はより早く実用化が見込める分野として、大きな期待を集めてきました。患者から作製した I P S 細胞は患者と同じ遺伝子を持っていることから、遺伝子に関わる病気の場合、細胞レベルで病気の状態を再現することができます。病気を再現した細胞を使えば病気が起こるメカニズムを詳しく研究できるだけでなく、さまざまな物質を投与して治療につながる効果が見られるかどうかを直接、実験で確かめることができます。

京都大学 I P S 細胞研究所では、パーキンソン病、ALS = 筋萎縮性硬化症と言った国が指定する 300 種類以上の難病のうち、およそ半数の病気で I P S 細胞を作製することに成功しています。こ

うしたIPS細胞を使って、世界中で治療薬の候補となる物質が報告されています。ただ、実際の治療薬として実用化できるかどうかについては安全性や効果などを慎重に調べる必要があります、これまでは実際の患者への投与は行われていませんでした。

今回、京都大学のグループが国の承認を得るための臨床試験を始めた薬は、すでに別の病気の治療薬として使われていたものです。初めての臨床試験が始まることで、IPS細胞の医療への応用にさらに弾みがつくと期待されています。

また、東京医科歯科大学は13日がん患者の血液でがんに関する73種類の遺伝子を網羅的に調べる臨床研究を始めたと発表した。

遺伝子情報から治療法を選ぶ「ゲム医療」につなげる狙い。対象は通常の治療で効果が得られない患者らで、血液を採取して米国の検査会社に送り、血中に僅かに存在するがんの遺伝子を基に73遺伝子の変異を調べる。

変異が見つければ、対応する分子標的薬などの治療を探す。今回の検査は、がん細胞を採取する従来の生検に比べて患者の負担が小さく、繰り返し実施できる利点があるという。

検査代は39万円

■幹事報告(幹事 古田哲朗)



1)

永田壮一 ガバナー、倉田榮喜 職業奉仕部門長、川尻成美 職業奉仕研修委員長より、職業奉仕第2回セミナーの案内。

日時 2017年12月2日(土) 13:00~16:00

場所 熊本県民交流館パレア第1会議室

TEL: 096-355-4300

出席対象者 職業奉仕に関心のある皆様、職業奉仕地区委員

今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2017年 11月11日(土)・12日(日)	阿蘇RC創立50周年記念式典並びに記念ゴルフ大会	熊本県阿蘇市	阿蘇リゾートグランポリオホテル・ゴルフ場	佐野茂、松本繁、宮川義行
12月2日(土)	職業奉仕第2回セミナー	熊本県熊本市	熊本県民交流館パレア	新着

■「ロータリーの友11月号」紹介

(会報・雑誌担当 村瀬直久)

p.12 ロータリー財団月間「私たちの目標：ポリオのない世界」

p.47 新湊中央ロータリークラブ「いずみ子ども食堂」

■委員会報告

(会員増強担当委員 松本繁)

- ・現在の報告、40名→45名目標
- ・元八幡南RC米山奨学生 彌富照皇さん(女性)→推薦あり→近日中面会予定(松本繁会員、山田公也会員)



■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 松本一也)



熊本東南ロータリーアクトクラブ11月第2例会

- ・熊本中央警察署交通第一課係長(警部補)を招いての講話及び交流会

日時 11月26日(日) 10:00~12:15

場所 北部公民館 熊本市北区鹿子木町66

TEL: 096-245-0046

出席宜しくお願ひします。

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
10月18日	40 (免2) 38	26	4	30	78.95
11月01日	40 (免1) 39	29			74.36

出席免除

10月18日 住江正治 山法雲

11月01日 住江正治

欠席者(8名)

10月18日 島村徹男 堤勝也 内田敏視

山本浩之 益田敬二郎 山坂哲生

岡本千代門 西村陽介

今度の100%出席の日は 11月22日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)



◎宮川義行 5,000円

10月28日(土)熊本学園大学4号館での会員増強セミナーに白石さんと参加しました。永田ガバナーが「ロータリーの基礎知識」と題して話されたのが、ロータリーは、①自らの職業に対する倫理を構築するために勉強する事、②それを実践するために社会に貢献する事、③この2つを達成するためには揺るぎない友情と親睦がなくてはならない、との事でした。ロータリーが他のグループと違うところは、社会奉仕だけをする団体ではなくて、「奉仕の理念」を奨励し学習する点にある、との事でした。常に学習して佐野さんのように頭脳明晰でありたいと思っています。

◎吉田嘉昭 3,000円

先週、一般公開を前に東京モーターショーに行ってきました。2年おきに開催されますが、日本メーカー、海外メーカー、ともにだんだんチープになってきております。日本市場への来たいがうすい事の現れでしょう。ガンバレ日本!!

◎潮谷愛一 2,000 円
 誕生祝いありがとうございます。78才になりますし、家内が東京から帰って来ましたので安心です。

◎小松野正彦 2,000 円
 宮川さん、外壁宜しく願いいたします。ポールは赤で！

卓話
 (ロータリー財団委員長 福井学)



11月は、ロータリー財団月間！

2017～2019年度
 地区・クラブ目標 10%UP！

熊本東用RC 財団委員長
 福井 学

ロータリー財団とは

ロータリアンその他から寄付を受け、その寄付金をクラブや地区の奉仕プロジェクトに補助金を投与する非営利団体。

ロータリー財団の歴史

1917年アトランタ国際大会に
 際して
 「世界の発展と平和・教育・その他社会奉仕の分野においてよりよきよきをするための基金をつくらう」
 と議決したことが始まり



アーチクラブとはどんな人

アーチクラブとは、若い少年青年の組織で、英語やハイチ語やフランス語など職業を通じて習得した言語を中核とし、また、アーチクラブは、フルタイム兼パートタイムのボランティアで活動する委員会の役員として、また、アーチクラブは、国際ロータリーの奉仕活動を促進する委員会の委員長として、また、海外にロータリーを普及し、年次報告文を提出するなどの業務を行います。また、アーチクラブは、全日本ロータリークラブの目的を達成するために、ロータリー財団に寄付を募集し、それは1919年に開始されました。ロータリー財団において、アーチクラブの歴史は、ロータリーの発展に必要な結果をもたらしています。

ロータリー財団と正式命名！

- 1920年基金が1000ドル(1340,000円)まで成長
- 1928年スエーデン国際大会で「ロータリー財団」と命名され、管理委員会が設置される
- 正式名称「国際ロータリーのロータリー財団」
- 初管理委員会(1928～1935)アーチ・クラブ
- 1949年に総会組織となり、1963年に米国イリノイ州の議会の下に非営利法人となった
- 国際ロータリーから独立した非営利
- 国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的・理念・活動は同じと見做されるものである

ロータリー財団の使命は

「ロータリー財団が、人々の健康改善を促進し、世界への発展を目的、教育を推進する各途を通じて世界平和、教育、平和を達成できるようにすること」です。
 世界平和を目的とする財団は、ロータリー財団を通じて、よりよい世界をつくることに向け、活動する各々の財団活動者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。
 ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助成が必要とする社会問題の解決に貢献可能な資金をもたらす活動に役立てられています。

①ロータリー財団に寄付する理由

寄付金10%以上が、寄付者に還元されます。
 個人は所得控除を受け、法人は経費として計上できるため、安心して寄付することができます。

②寄付金どのように活用されるか

世界に137か国あるクラブ(122カ国)は、毎年約1億2000万ドル(約1400億円)の寄付金を集め、教育、平和を達成するために、世界中の様々な社会問題の解決に役立てられています。そのうち約10%は、年次報告文を提出して、基金を世界で10%還元させていただきます。
 皆様からのご寄付は、この10%還元活動に活用されています。

ロータリー財団の寄付

財団の資金

ロータリー財団は、皆様からのご寄付を世界各地の奉仕活動に役立てています。
ロータリーの奉仕部門である財団は、時間、資金、知識を生かして活動するロータリアンの世界的ネットワーク、そしてボランティアや平和の推進といった財団の優先活動に専門的知識を通じて、世界のニーズに応えています。

ロータリー財団の基礎知識！



熊本東用RCの財団寄付状況！

- ①年次報告 (一般寄付)：各委員の協賛により増加！(年間100名) 2019年 クラブが年間400名(400,000円)を超えた
- ②特別寄付：各委員の協賛により増加！ (年間200名) 2019年、寄付総額1,000,000円(1,000,000円)以上) 4年連続で10%UP！
- ③地区委員：協賛には関係ありません。
- ④クラブメンバー：各委員の協賛により増加！(年間1000名)

年次報告は、ロータリー財団の発展や補助金の活用状況を報告する重要な報告書です。
 ロータリー財団への寄付は、システムを通じて、人々の生活に役立つための活動に活用される補助金として活用されます。
 協賛金とは、ロータリー財団の補助金プログラムを通じて、年次報告文を提出して、基金を世界で10%還元させていただきます。
 皆様からのご寄付は、この10%還元活動に活用されています。
 協賛金とは、ロータリー財団の発展や補助金の活用状況を報告する重要な報告書です。
 ロータリー財団への寄付は、システムを通じて、人々の生活に役立つための活動に活用される補助金として活用されます。
 協賛金とは、ロータリー財団の補助金プログラムを通じて、年次報告文を提出して、基金を世界で10%還元させていただきます。
 皆様からのご寄付は、この10%還元活動に活用されています。

項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績
総寄付金	1,200,000円	1,300,000円	1,400,000円
基金	100,000円	110,000円	120,000円
助成金	1,100,000円	1,190,000円	1,280,000円
その他	100,000円	100,000円	100,000円

熊本東用RC～寄付金額

2019～2017年度実績

特別寄付：1,000,000円(100名)
 一般寄付：1,200,000円(1,200名)
 その他：100,000円(100名)

2018～2017年度実績

特別寄付：1,100,000円(110名)
 一般寄付：1,300,000円(1,300名)
 その他：100,000円(100名)

財団での寄付者認証プログラム

寄付者の認証は、寄付者の個人情報を保護し、寄付金の透明性を確保するための重要な取り組みです。財団では、寄付者の個人情報を厳格に管理し、第三者への提供を禁止しています。また、寄付者の個人情報は、寄付金の振り込みや領収書の発行にのみ使用されます。

熊本東用RCの寄付者認証

熊本東用RCでは、寄付者の個人情報を厳格に管理し、寄付金の透明性を確保するための重要な取り組みです。財団では、寄付者の個人情報を厳格に管理し、第三者への提供を禁止しています。また、寄付者の個人情報は、寄付金の振り込みや領収書の発行にのみ使用されます。

寄付お金の運用状況



ロータリー財団補助金とは

ロータリー財団の補助金は、様々な奉仕プロジェクトのほか、奨学金や職業研修など、ロータリー会員が実施する活動を支援しています。

①地区委員会

地区委員会は、ロータリー財団の活動を推進するための重要な組織です。地区委員会は、ロータリー財団の活動を推進し、寄付金の透明性を確保するための重要な取り組みです。また、寄付者の個人情報は、寄付金の振り込みや領収書の発行にのみ使用されます。

熊本東用RCの補助金申請状況！

熊本東用RCでは、ロータリー財団の補助金を申請し、活動に活用しています。2019年度は、20件の申請があり、15件の申請が承認されました。申請額は、総額1,000,000円です。

地区ロータリー財団部門の組織図と役割！



寄付金の流れ



地区補助金支給基準 1(絶対条件)

- ロータリー財団の活動に貢献していること。
- ロータリー財団の活動に貢献していること。
- ロータリー財団の活動に貢献していること。

地区補助金支給基準 2(絶対条件)

- 地区補助金申請書に記入された内容が、正しいこと。
- ロータリー財団の活動に貢献していること。
- ロータリー財団の活動に貢献していること。

補助金の対象にならないもの(例)

- 特定の個人、団体などにのみ利益がもたらされる活動。
- 違法な活動の資金。
- 政治活動、選挙活動などのロータリー活動に関する経費。
- 地域で人々を助けるロータリー活動の資金。
- ロータリー財団の活動に貢献していること。
- 他の活動への資金提供の資金。
- 既に実行中または完了したプロジェクト。

補助金の対象になるもの(例)

- 設立以来の活動の資金。
- 2019～2017年度より、スポンサーも10%還元が可能な活動。

2018～2017年度 地区補助金の利用状況

2018～2017年度 地区補助金の利用状況

申請総額：6,800,100円

承認総額：3,000,000円(44%)

(内訳)

- 教育：1,000,000円
- 職業研修：1,000,000円
- その他：1,000,000円

地区補助金申請手順！

- 申請書の作成
- 申請書の提出
- 申請書の審査
- 承認書の発行
- 申請金の振り込み
- 申請金の活用
- 申請金の報告

ビデオ上映

①ロータリー財団を支える(1:15)

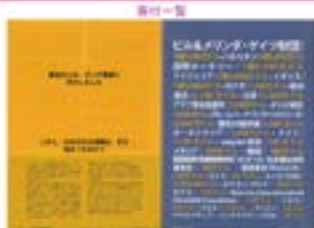
②人々の心に触れた100年(4:33)



ライズリー国際大会メッセージ



ポリオ撲滅の取り組みについて



国際学生の話



対面型学生（東京島市立国際看護専門学校）



対面型学生（東京島市立国際看護専門学校）



※この資料は、当クラブのホームページよりダウンロードできます。

今年はゲイツ財団で開催：世界ポリオデー特別イベント

[世界ポリオデー](#)（10月24日）に合わせた今年の特別イベントは、シアトルに本拠を置くビル＆メリンダ・ゲイツ財団による主催の下、はじめてアメリカ西海岸で催されることとなりました。ゲイツ財団は、ロータリーと同じく、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）の主要パートナーの一つとなっています。

現地時間の14:30に開始され、生中継でインターネット配信されます（日本時間は25日午前6:30～）。また、後日にその録画（日本語通訳付き）を見ることができます。

このイベントでは、ゲイツ財団CEOの[スー・デズモンド・ヘルマン](#)氏が、ポリオ撲滅キャンペーンの進捗について話をします。今年報告された野生型ポリオウイルスによる発症件数は[11件](#)のみに抑えられており、また、発症国もパキスタンとアフガニスタンの2カ国に留まっています。

6月にアトランタで開催された2017年ロータリー国際大会では、ビル・ゲイツ氏が、ポリオ撲滅活動におけるロータリーとのパートナーシップを継続することを発表しました。これにより、ロータリーのポリオ撲滅寄付に対してゲイツ財団が倍額を上乗せするマッチング方式が今後も継続されます（[詳しくはこちらの記事をご覧ください](#)）。

このイベントでは、次の方々による参加・講演も予定されています。

ジェイ・ウェンガー（ゲイツ財団のポリオ撲滅活動ディレクター）
ヘイドリーン・ディーン・ローズ（国際ロータリー副会長）
ジョン・セナ（ロータリーのポリオ撲滅大使）
ティフ・サヴェージ（ロータリーのポリオ撲滅大使）
エイド・アデピタン（パラリンピアン、ポリオサバイバー）
ジェフリー・クルーガー（『Time』誌シニアエディター）

クラブのポリオ撲滅活動を報告にご協力ください

ロータリーでは、世界各地の会員によってポリオ撲滅活動が実施されており、昨年の世界ポリオデーに合わせて、90カ国から1400件以上の活動情報が報告されました。今年も各地からの情報を集めておりますので、[オンライン](#)、またはEメール（globalcommunications@rotary.org）で活動情報をご提供いただけますようお願い申し上げます。日本からも既に100件を超える多くの報告が寄せられています。

[こちらから簡単に活動情報を提出できます](#)

[活動マップ](#)

ハッシュタグ（#endpolio）でメッセージ拡散にご協力ください
[さまざまなポリオ関連リソース](#)